

平成27年度の主な事業報告

社会福祉法人 福岡愛育福祉会

※1年間の事業内容を具体的に記入してください。

社会福祉事業

- 法人全体としては平成27年度に玄海学園設立時から借りていた広場の土地の購入を行いました。この土地は、運動・避難用地、駐車場や夏祭の会場等法人としても重要な土地ですので、将来に向けて安定した経営が図れることになりました。
また、新しく共同生活援助事業を開設するための取り組みを重点的に行いました。設置場所は、玄海第一育生園の隣地で、市街化調整区域であり農業振興地域という場所ですが、糸島市が障害者への政策を柔軟にさせていただいたおかげでこの様な非常に条件の厳しい土地での開発申請が可能となってきました。この件に関しては、平成28年度も継続して農地法の申請等を進めて参ります。
その他監査指導への対応やマイナンバー制度及び退職手当共済制度の改正に対する対応等を行ないました。
- 玄海第一育生園では、職業指導員1名の退職に伴い、生活支援員（調理員兼務）を職業指導員（専従）とし、調理員2名を新たに外部委託（派遣）としました。
予算においては、報酬改定（食事提供体制加算）の影響による減少に対応するべく、月1回程度の土曜日開園を実施し事業収入の確保に努めました。しかし、冬季の感染症の流行等により出席率が低下しましたので、移行時積立金を150万円取崩し充当しました。
食品製造事業にてラスク製造販売が稼働しましたので、初期費用は嵩みましたが、前年度の売上を上回ることが出来ました。
設備、整備面では、作業用の車輛（バン）の入れ替えや厨房のガスオーブンレンジ入れ替え及び調理員休憩室床の張り替え、また台風15号被害による屋根の修理を行いました。
利用者支援においては、個々の利用者の個別支援計画や目標達成に向けて能力適性に応じた作業提供や支援に努めました。
- 玄海学園では、念願だった階段昇降機を設置することが出来ました。今まで、2階への上り下りに大変苦勞をされていた利用者がスムーズに移動できることとなり、日常生活面や非常時の移動などの利便性が大変向上しました。また、男子浴室の介護用リフトの設置も行い、介護度が高まり入浴支援が大変だった面も解消し、利用者・職員とも負担軽減となりました。
住環境の整備としては、開園以来初めて館内のクロスの張り替えを行いました。今後、計画的に全館の整備を計画しています。また、老朽化していた、網戸の入替も行い快適な環境作りに努めました。最後に、これも介護面の重度化に伴い、1階職員トイレを多目的トイレへと改修し、利用者のみならず来客者への対応も可能となりました。
職員の資質の向上に関しては、相談支援従事者現認研修や重度障害者支援の体制が整うよう強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践研修）への参加を積極的に取り組みました。
最後に、将来の建替に備えて施設等整備積立金に1,000万円積立てました。
- 井田原ホームでは、平成27年度も男性2名・女性合計5名の方が年間を通じて利用されました。
自立した日常生活を営むことが出来るよう、利用者のニーズを踏まえ個々のニーズに合った適切なサービスの提供に努めました。
部屋の掃除や衣類の整理整頓、薬の管理、ウォーキング、仕切り内の草取りや買物等の支援を行いました。

公益事業

収益事業